

40年間に関わったすべての人の思い

栃木県 とちぎ男女共同参画センター
柴崎 千春（しばさき ちはる） 26歳

青々と茂った緑の中に静寂な池、神秘的な雰囲気をただよわせる NVEC のアーチをくぐるのは 2017 年の男女共同参画推進フォーラムが 2 回目です。自然に囲まれた落ちついた建物のたたずまいとはうってかわって、参加する人々の熱意はぐつぐつと沸き上がっており、その勢いに今年も圧倒されました。

私はまだ新人だからとか、人生経験が浅いからとあって、男女共同参画の分野に対してひかえめな気持ちで挑んでいましたが、2017 年のフォーラムには若い男女の姿がたくさん。話を聞いてみると、自主的にジェンダーについて興味を持ち、学んでいる人々だといっていました。主体的に取り組み、当事者意識を持った、自分よりももっと若い人たちの意欲に自分は恥ずかしくなり、もっと自信を持てるように学んでいかねばならないと感じました。

まだ男女共同参画の問題はたくさん残っているといわれていますが、40 年前に NVEC が誕生し、それから多くの人に関わり、汗と涙を流し合い、努力した結果今があることを考えると、現在こうして当たり前にいきいき過ごすことができていることは、大変幸せなことなのだと再認識できました。

これからも 50 年、60 年と歴史を刻み、男女すべてが生きやすい社会をつくりあげるため、いつまでも輝いていってほしいと願っています。